

2024 年 12 月 16 日

インドにおける動物実験代替のニーズに応える J-TEC とシベン・バイオテック 研究用ヒト培養組織の販売に関する代理店契約を締結

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング（本社：愛知県蒲郡市、社長：畠 賢一郎、以下「J-TEC」）と、Shiven Biotech（本社：インド共和国マハラシュトラ州、CEO：Pranav Desai（プラナヴ・デサイ）、以下「シベン・バイオテック」）は、医薬品や化粧品の開発における動物実験の代替として使用する研究用ヒト培養組織「ラボサイト」をインドで販売するための非独占的販売代理店契約を、2024 年 12 月 16 日に締結しました。動物愛護の観点から動物実験の廃止が世界的に進む中、高い市場成長が見込まれるインドで「ラボサイト」の迅速な拡販を図り、動物実験代替のニーズに応じていきます。

1. 背景・経緯

- （1）医薬品や化粧品などの開発には、製品に含まれる成分がヒトに与える影響を確認するための動物実験が行われてきました。しかし、2013 年には EU で化粧品開発における動物実験が全面的に禁止されるなど、近年は動物愛護の観点から動物実験代替の動きが世界的に加速しています。
- （2）インドは経済発展を背景として医薬品や化粧品の開発需要が高まる一方で、2014 年には化粧品開発における動物実験と、動物実験を通じて開発された化粧品の輸入が禁止されたことから、動物実験代替製品の市場規模は今後さらに大きく増加すると予想されています。2020 年に約 25 億 5 千万円の市場規模は 2025 年には約 46 億 7 千万円※1 と約 2 倍に拡大し、今後もさらに高い市場成長が見込まれています。
- （3）J-TEC は、日本で初めて再生医療等製品である自家培養表皮「ジェイス」を上市し、再生医療の事業化と社会実装を進めてきた再生医療のパイオニアです。2005 年からは再生医療等製品の開発で培った高度な細胞培養技術を応用し、ヒトの皮膚や角膜の細胞を培養した人工組織を実験動物の代替として用いる研究用ヒト培養組織「ラボサイト」を販売しています。
- （4）シベン・バイオテックは、2014 年に設立し、インドの金融の中心地であるマハラシュトラ州に拠点を置く、研究用資材などを提供するバイオテクサプライヤーです。米国や英国、EU のライフサイエンス業界の主要メーカーから製品をインド国内に展開し、「ラボサイト」のユーザーとなり得る研究機関や大学、企業との取引実績があります。
- （5）このような背景から J-TEC は、欧州や米国に続く次の海外展開の重要ターゲットとしてインド市場への進出を検討してきました。その中で、生きた細胞を使用するため使用期限が短い「ラボサイト」を迅速に顧客に届けるため、インド国内で多国籍のバイオテク製品の輸入販売実績を持つシベン・バイオテックと非独占的販売代理契約を締結するに至りました。

※1 出典：MARKETSANDMARKETS 「IN VITRO TOXICITY TESTING MARKETGLOBAL FORECAST TO 2025」

NEWS RELEASE

2. 今般の契約について

- (1) J-TEC は「ラボサイト」をシベン・バイオテックのインドにおける流通ルートを通じて同国の受託試験機関や化粧品開発企業、大学に販売します。
- (2) 両社は連携し、インド国内の顧客訪問や学会発表などの販売促進活動を推進していきます。

3. 研究用ヒト培養組織「ラボサイト」について

- (1) 「ラボサイト」は、ヒトの細胞を体外で培養し、組織を模して再構築した人工的な組織モデルです。ヒトの皮膚を再現した「エピ・モデル」と、角膜を再現した「角膜モデル」があり、化粧品や医薬品の皮膚や角膜への影響を確認する試験に使用することができます。
- (2) 「ラボサイト」は、実験動物を使用する必要性だけでなく、ヒトの組織に極めて近い構造を持つため、ヒトへの影響をより精度高く検証できます。また、製造から販売までを自社で行うことにより、短期間での納品と、徹底的に品質管理した製品の安定供給を実現しています。
- (3) 活発な動物実験代替の需要を背景に、売上は過去 10 年間で約 2.5 倍に成長しており、国内の市場においてトップシェアを有しています。



「ラボサイト エピ・モデル」(皮膚のモデル)



「ラボサイト」の使用イメージ

【 J-TEC 代表取締役 畠 賢一郎のコメント 】



代表取締役 畠 賢一郎

「ラボサイト」シリーズは、当社の再生医療等製品の製造技術を水平展開した、高い品質の研究用ヒト培養組織です。国内ではすでに多くの方々にご利用いただき、適切な動物実験代替法として認識してもらっています。今般の販売代理店契約を通じて、今後も高い成長が期待されるインドへの円滑な提供を目指しております。「ラボサイト」のさらなるグローバル展開にご期待ください。

【 シベン・バイオテック CEO Pranav Desai のコメント 】



CEO Pranav Desai

シベン・バイオテックは、このたびのJ-TEC とのパートナーシップのもと協働できることを楽しみにしています。近年のインドにおける動物実験代替へのニーズの増加と、その将来成長の可能性を踏まえ、J-TEC がインドの顧客にヒト培養組織モデルを供給する際のベンチマークとなることを目指します。技術と製品のサポートに加え、インド市場における「ラボサイト」の新規顧客を開拓し、顧客の声に答えていきます。

3. 今後の展開

- (1) シベン・バイオテックは、「ラボサイト」の拡販を通じて、インド国内の新規顧客獲得に注力し、販売力を強化していきます。
- (2) J-TEC は、このたびのインド進出を足掛かりとして、「ラボサイト」の海外シェアを伸ばし、J-TEC の成長戦略のひとつである「ラボサイト」事業の拡大を目指していきます。さらにインドでの販売実績を積むことで、その他地域への海外展開も進めていきます。
- (3) J-TEC は今後も、日本の再生医療のパイオニアとして培った技術を最大限に活用し、ビジョンとして掲げる「再生医療をあたりまえの医療に」の実現を目指していきます。

<参考：株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリングについて>

J-TEC は、日本の再生医療のトップランナーです。国内で承認されている、以下 5 品目の再生医療等製品を保有しています。

- ✓ 2007 年 10 月承認 自家培養表皮「ジェイス®」日本初の再生医療等製品
- ✓ 2012 年 7 月承認 自家培養軟骨「ジャック®」 整形外科領域で日本初の再生医療等製品
- ✓ 2020 年 3 月承認 自家培養角膜上皮「ネピック®」 眼科領域で日本初の再生医療等製品
- ✓ 2021 年 6 月承認 自家培養口腔粘膜上皮「オキュラル®」
世界初の実用化された口腔粘膜上皮細胞を用いた再生医療等製品
- ✓ 2023 年 3 月承認 メラノサイト含有自家培養表皮「ジャスミン」
皮膚領域で国内 2 つ目の再生医療等製品

<参考：シベン・バイオテックについて>

会社名	Shiven Biotech
代表者の役職・氏名	Pranav Desai (Founder)
所在地	A808/809, Jaswanti Allied Business Centre, Ramchandran Lane, Kanchpada, Malad West, Mumbai 400064, Maharashtra, India
設立	2014 年
主な事業の内容	バイオテクノロジー、分子生物学、ゲノミクス、プロテオミクス、製薬科学などのライフサイエンス分野における研究開発製品の提供
ホームページ	https://shivenbiotech.com/

以 上

【 当件に関するお問合せ先 】

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング 経営管理部

E-mail : jtec-info@jpte.co.jp TEL : 0533-66-2020